

令和3年度 農山漁村体験活動実施状況等調査結果

令和4年12月
内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局
文部科学省

1 調査の趣旨等

● **趣旨** : まち・ひと・しごと創生総合戦略（2017改訂版）（平成29年12月22日閣議決定）において、「地方生活の魅力を子供の頃から学び、触れることによって地方への理解を深め、一旦東京に出た場合でも将来的なU I Jターン、地方移住・交流を促進する観点から、小学生に加え、中学・高校生の農山漁村体験を一層充実する」とこととされたことを踏まえ、公立の小学校・中学校・高等学校それぞれについて、農山漁村体験活動を実施している学校数等の取組状況を調査し、その結果を公表するもの。

● **調査主体** : 内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局、文部科学省

● **調査時期** : 令和3年度における取組状況として、令和4年6月～8月にかけて調査。

● **調査対象**

	公立の学校数 (カバー率)	公立の児童・生徒数 (カバー率)	(参考) 全学校数	(参考) 全児童・生徒数
小学校 (義務教育学校前期課程含む)	19,173校 (98.4%)	6,144,130人 (98.1%)	19,487校	6,262,255人
中学校 (義務教育学校後期課程及び中等 教育学校前期課程含む)	9,409校 (91.5%)	2,987,455人 (91.4%)	10,283校	3,266,897人
高等学校 (定時制及び中等教育学校後期課 程を含み、通信制は含まない)	3,996校 (74.3%)	2,000,069人 (66.2%)	5,375校	3,023,436人

出典：令和3年度学校基本調査（文部科学省）。

全学校数及び全児童・生徒数は国立及び私立学校を含めた数。全日制と定時制を併置している学校については、それぞれ1校として集計。

● **調査方法** : 全都道府県・指定都市教育委員会に対して調査票をメールで送付し、調査対象における令和3年度の農山漁村での体験活動（※）の取組状況について回答を依頼。

※ 本調査における「農山漁村での体験活動」の定義

農山漁村その他の豊かな自然環境を有する地域に滞在し、地域の住民と交流しつつ、自然体験活動、農林漁業の体験を行う活動、地域の伝統文化に触れる活動等を行うこと。

2 調査結果概要

●集計状況

全ての都道府県、政令市から回収。

●主な調査結果

学年ごとの体験活動の実施状況を比較すると、小学校では5年生、中学校では2年生、高等学校では2年生で活動を実施している学校数が多くなっている。これらの学年における実施状況は次のとおり。

	体験活動の実施が最も多い学年における実施状況			(参考) いずれかの学年で実施	
	学年	学校数	全公立学校に占める割合	学校数	全公立学校に占める割合
小学校	5年生 (5年生)	6,516校 (4,625校)	34.0% (23.1%)	7,522校 (-)	39.2% (-)
中学校	2年生 (2年生)	1,249校 (1,097校)	13.3% (11.5%)	1,951校 (-)	20.7% (-)
高等学校	2年生 (2年生)	303校 (456校)	7.6% (12.7%)	383校 (-)	9.6% (-)

※ 下段 () 内の数値は前回調査の結果。

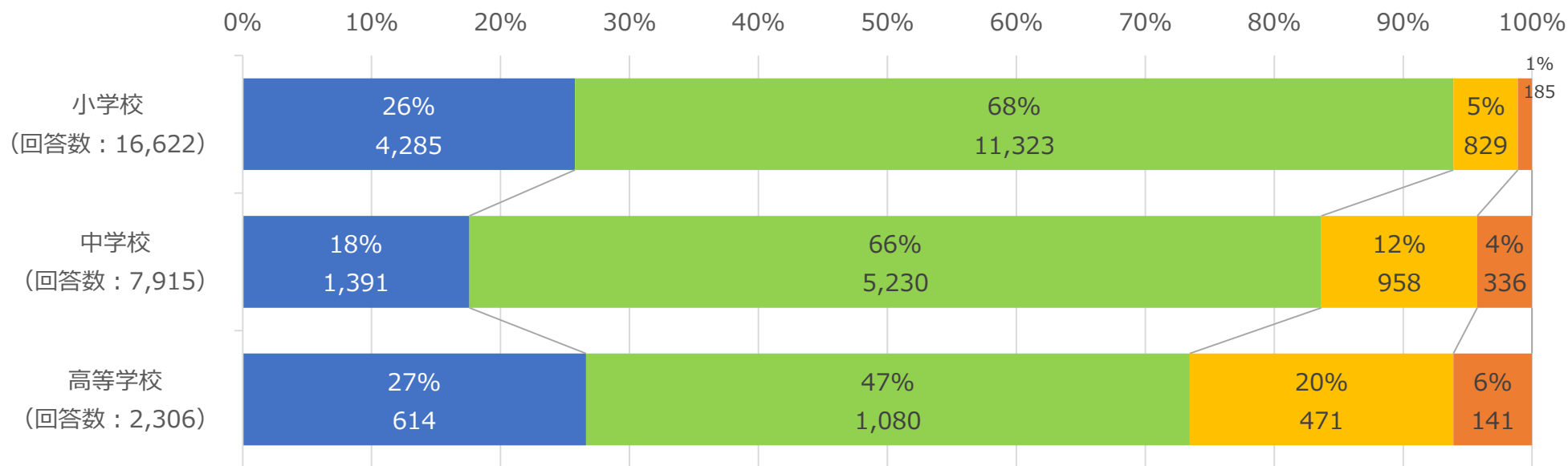
※ 前回調査は、平成28年度の取組について、平成30年1月～3月に調査を実施。

※ 平成28年度の調査は、「宿泊を伴う体験活動」に対象を限定。

3 令和3年度における新型コロナウイルス感染症による影響

- ・ 回答のあった小学校のうち、約6%で、令和3年度中の取組を見送り又は中止としているものの、約68%は、取組内容を一部変更するなどにより活動を実施している。
- ・ 中学校では小学校と比べて、取組を見送り・中止している割合が高い。高等学校では取組を見送り・中止している割合がさらに高く、取組を見送り又は中止した割合は、約26%となっている。

【小学校、中学校、高等学校の比較】



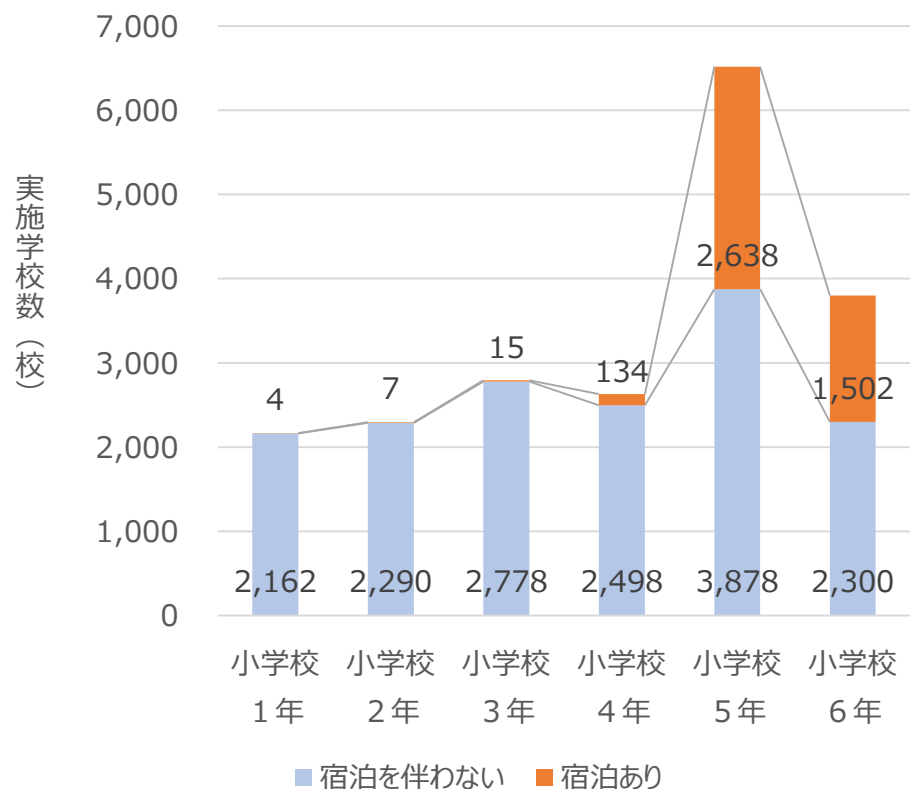
- 大きな影響はなく、令和3年度に予定していた取組を概ね実施できた
- 感染拡大等の影響を受けて、令和3年度に予定した取組内容を一部変更するなど縮小して実施した
- 感染拡大等の影響を受けて、令和3年度に予定した取組の実施を見送った
- 感染拡大等の影響を受けて、令和3年度に予定した取組を中止し、その再開や実施の目処がたっていない

※農山漁村での活動に限らず、体験活動全般への影響について質問。
 ※学校ごとに単一回答。活動の実施予定がない学校及び無回答の学校を除く。

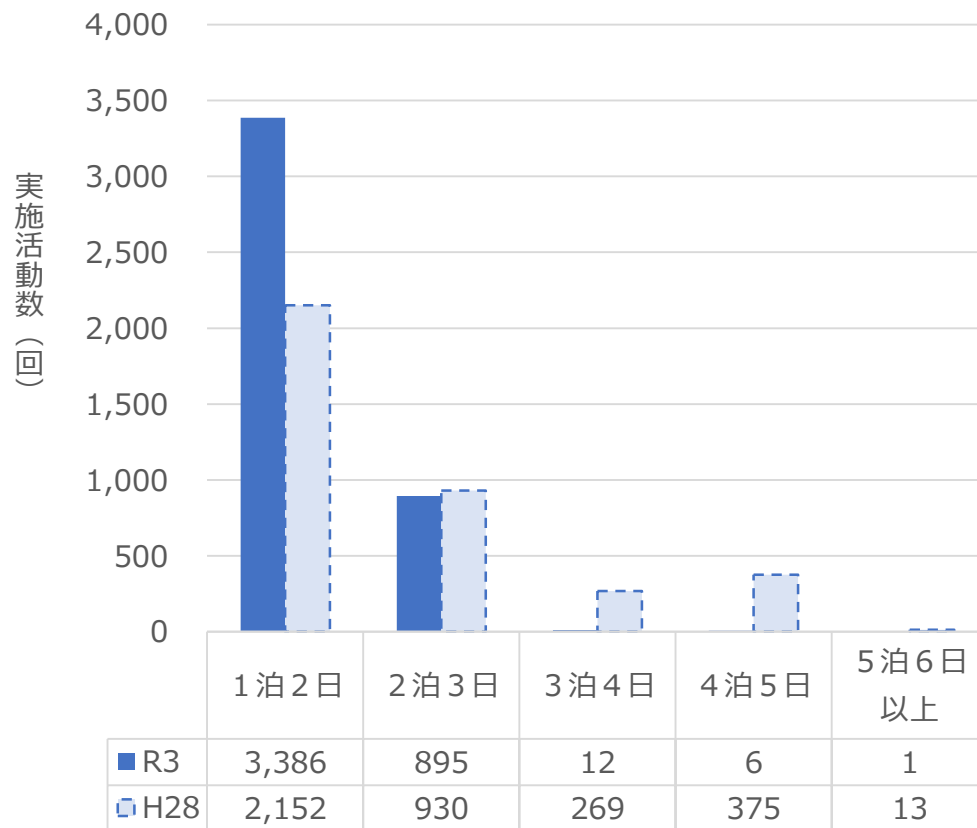
4-1 農山漁村での体験活動の実施状況（小学校）

- ・小学校1年～6年の活動数の合計は、20,206回。小学校5年生での実施が最も多く、約32%を占める。
- ・宿泊を伴う活動は、4,300回。そのうち、約79%は1泊2日の活動となっている。

【宿泊有無別の学年ごと実施学校数】（回答数：20,206）



【活動日数ごとの実施活動数】（回答数：4,300）



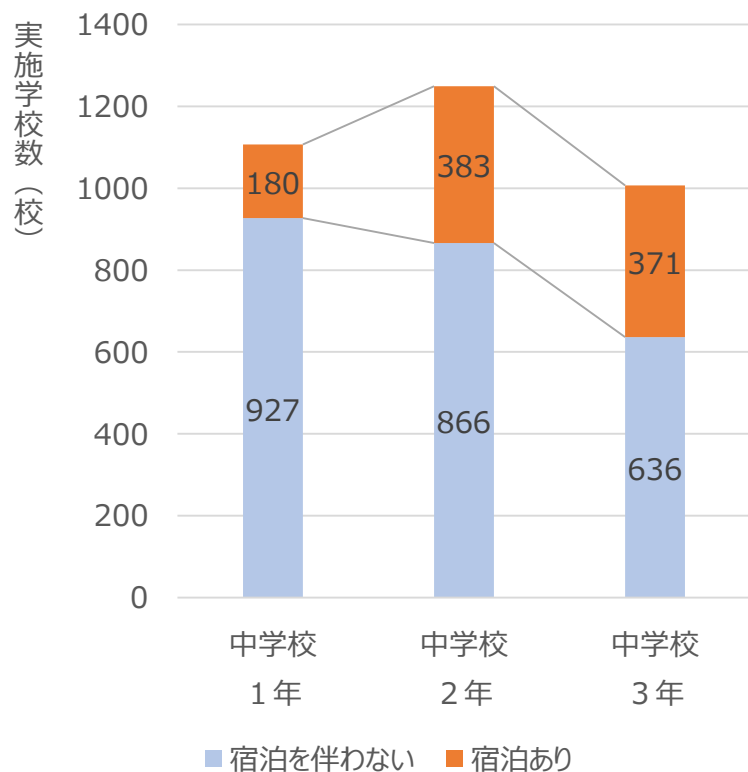
※単一回答。無回答を除く。

※単一回答。無回答を除く。

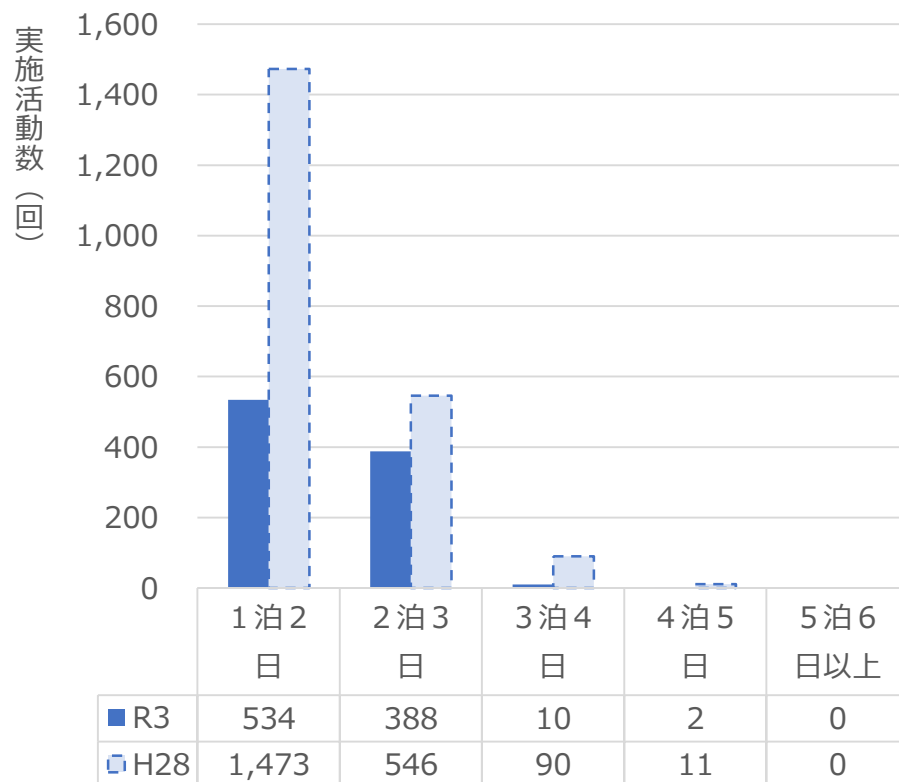
4-2 農山漁村での体験活動の実施状況（中学校）

- ・中学校1年～3年の活動数の合計は、3,363回。中学校2年生での実施が最も多く、約37%を占める。
- ・宿泊を伴う活動は、934回。そのうち、約57%は1泊2日の活動となっている。

【宿泊有無別の学年ごとの実施学校数】（回答数：3,363）



【活動日数ごとの実施活動数】（回答数：934）



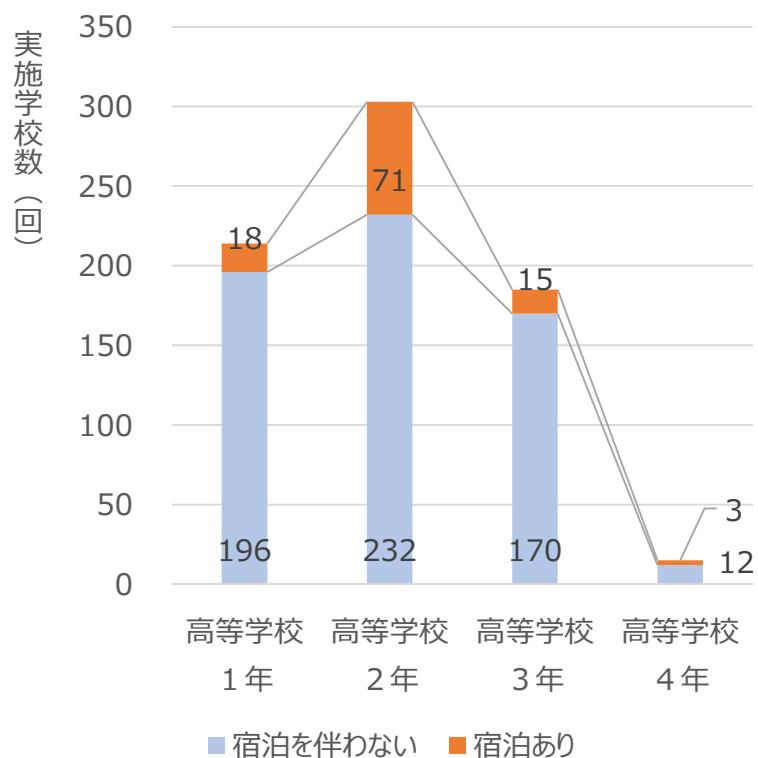
※単一回答。無回答を除く。

※単一回答。無回答を除く。

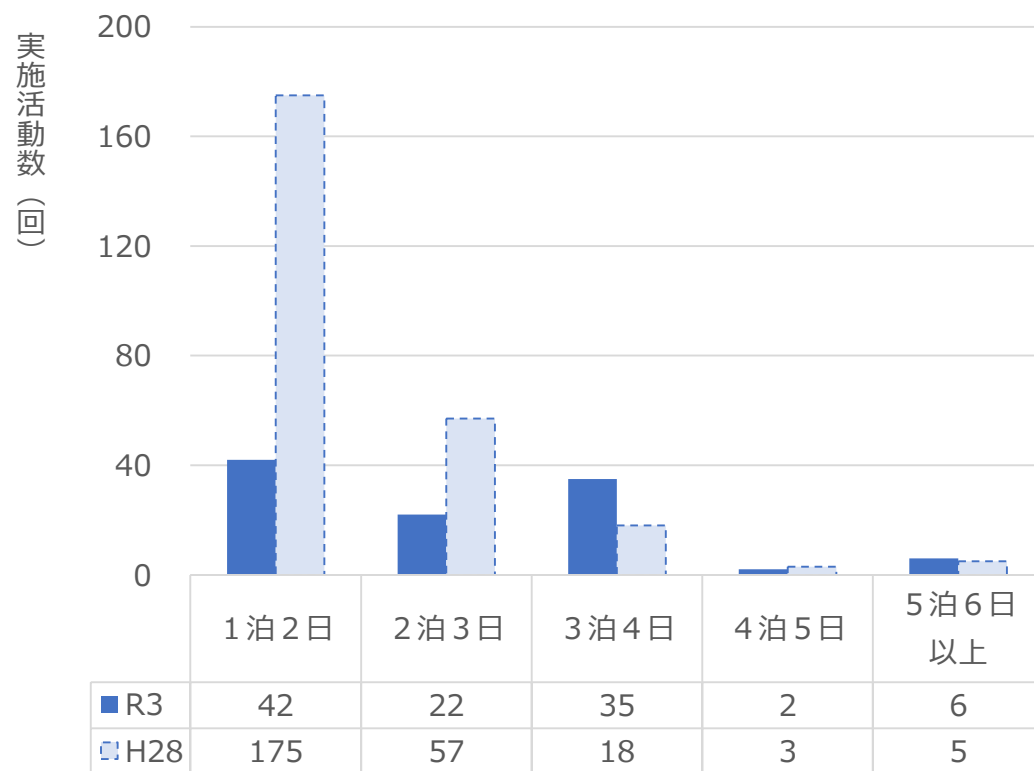
4-3 農山漁村での体験活動の実施状況（高等学校）

- ・高等学校1年～4年の活動数の合計は、717回。高等学校2年生での実施が最も多く、約42%を占める。
- ・宿泊を伴う活動は、107回。そのうち、約39%は1泊2日の活動、約33%は3泊4日の活動となっている。

【宿泊有無別の学年ごと実施学校数】（回答数：717）



【活動日数ごとの実施活動数】（回答数：107）

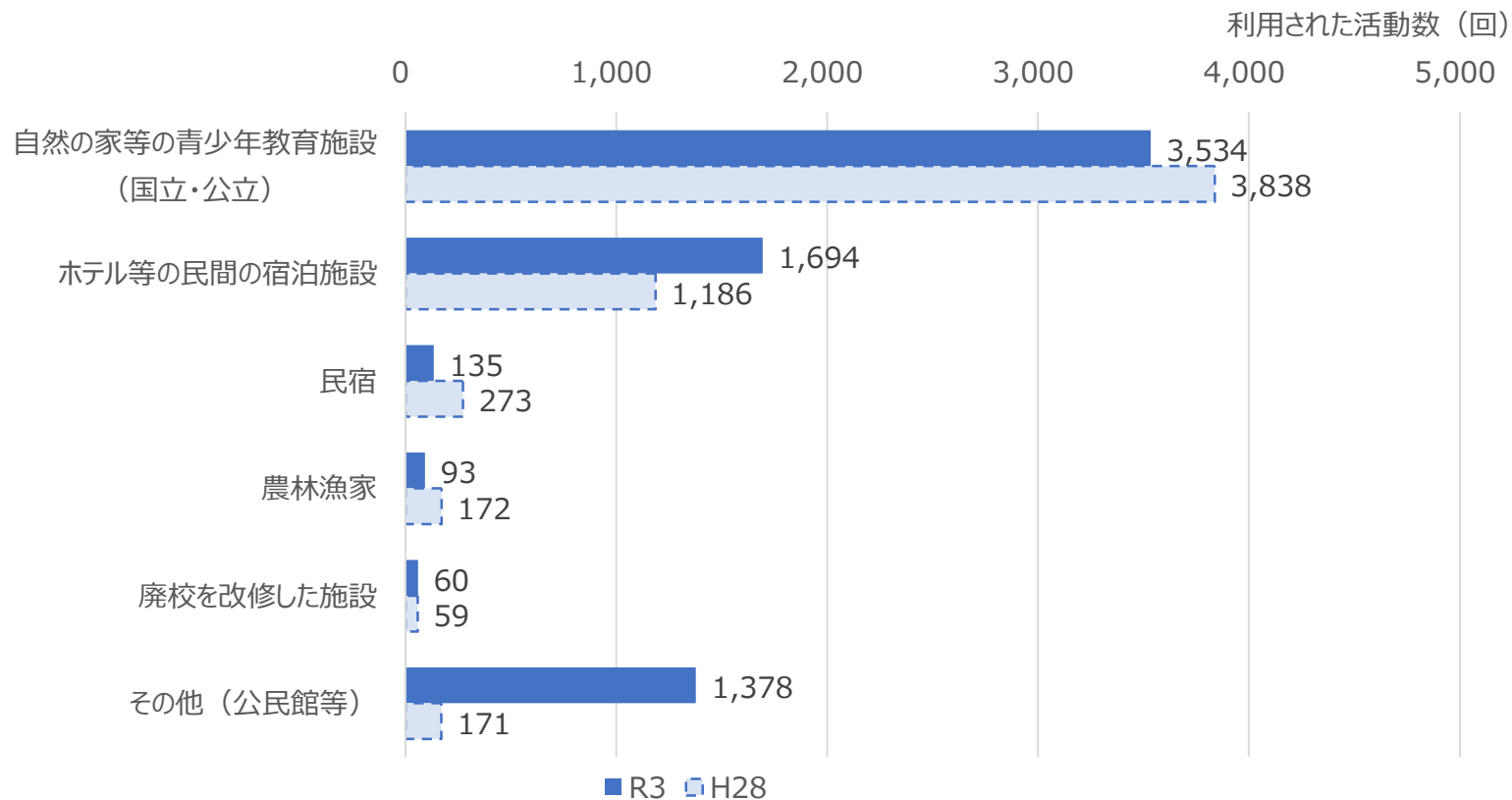


※単一回答。無回答を除く。

※単一回答。無回答を除く。

5 - 1 農山漁村での体験活動における利用施設（小学校）

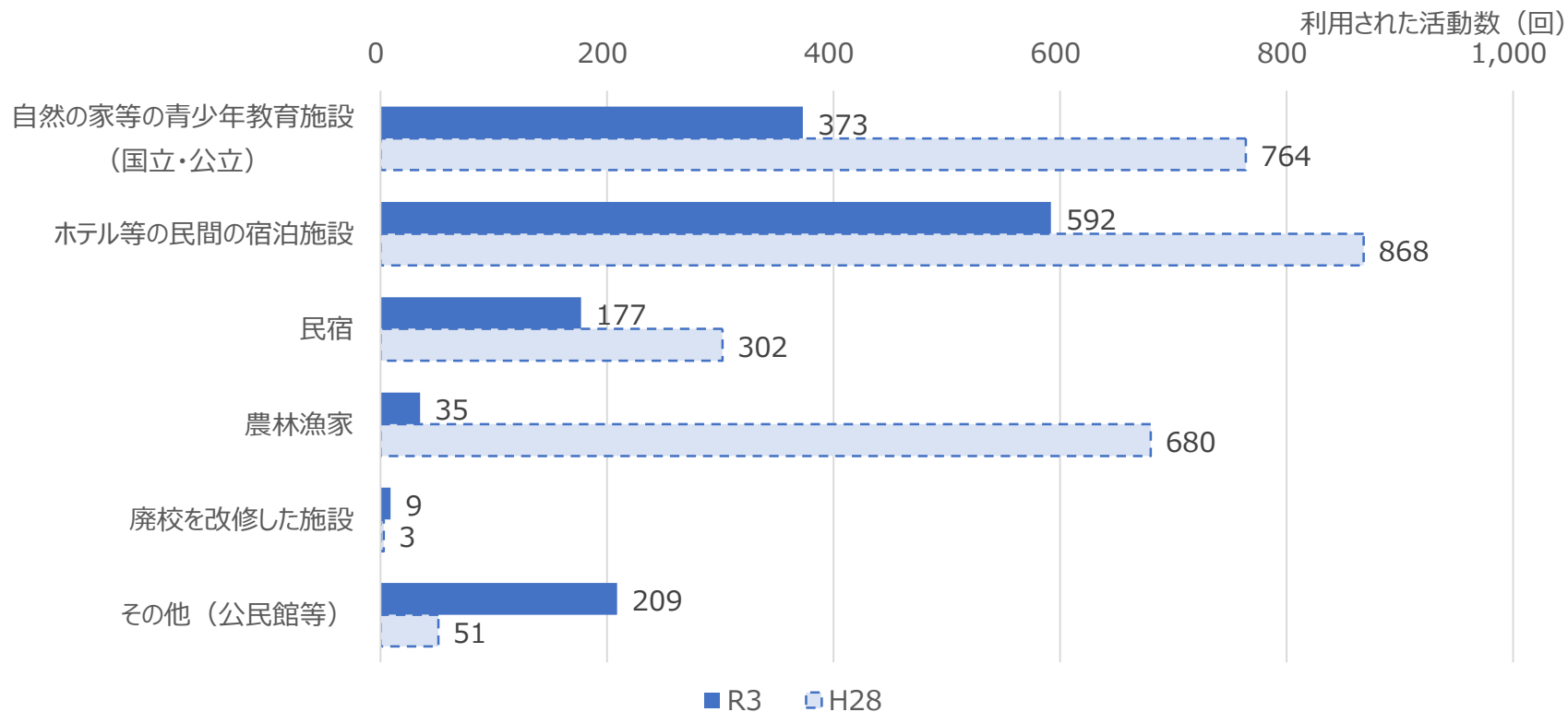
【施設種類ごとの利用状況】（回答数：6,894）



※複数回答
※無回答を除く

5-2 農山漁村での体験活動における利用施設（中学校）

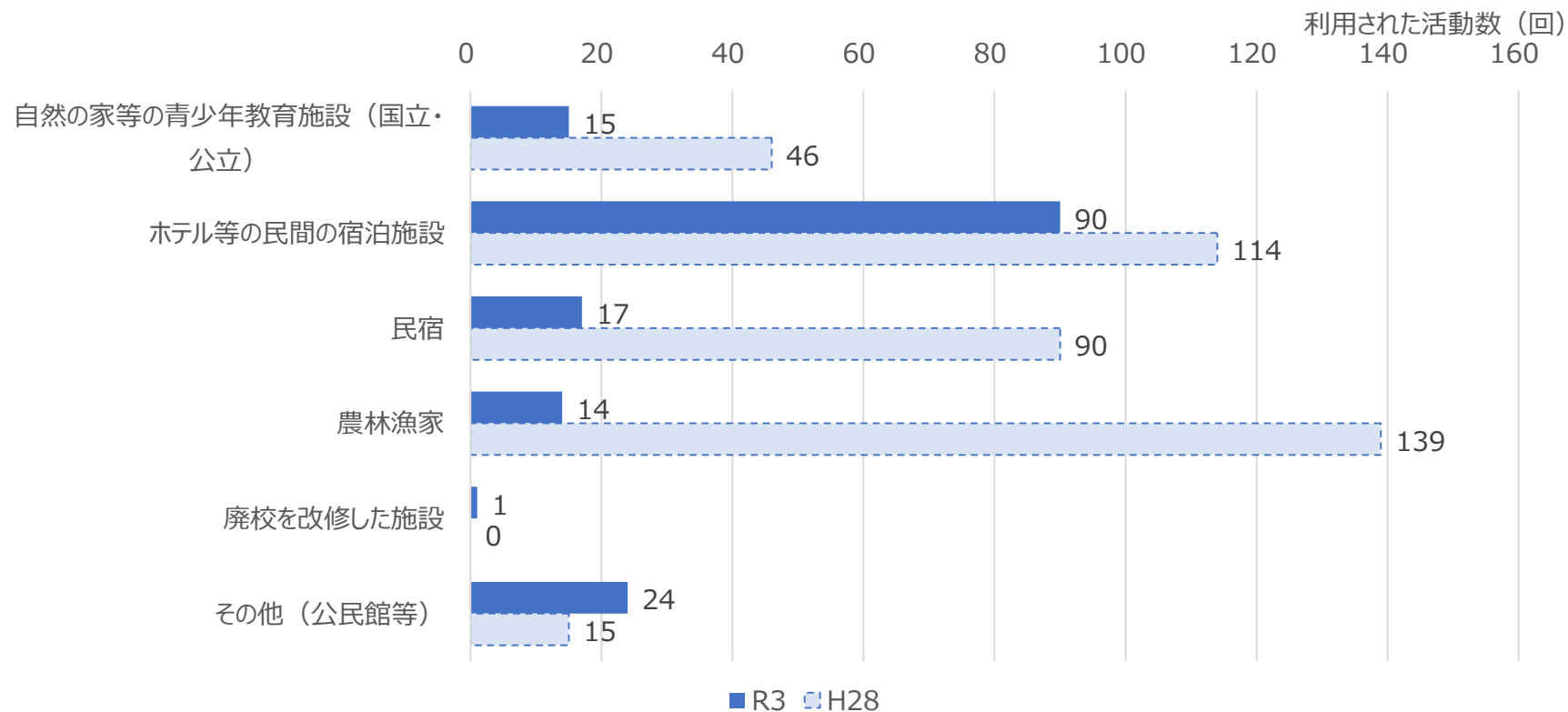
【施設種類ごとの利用状況】（回答数：1,395）



※複数回答
※無回答を除く

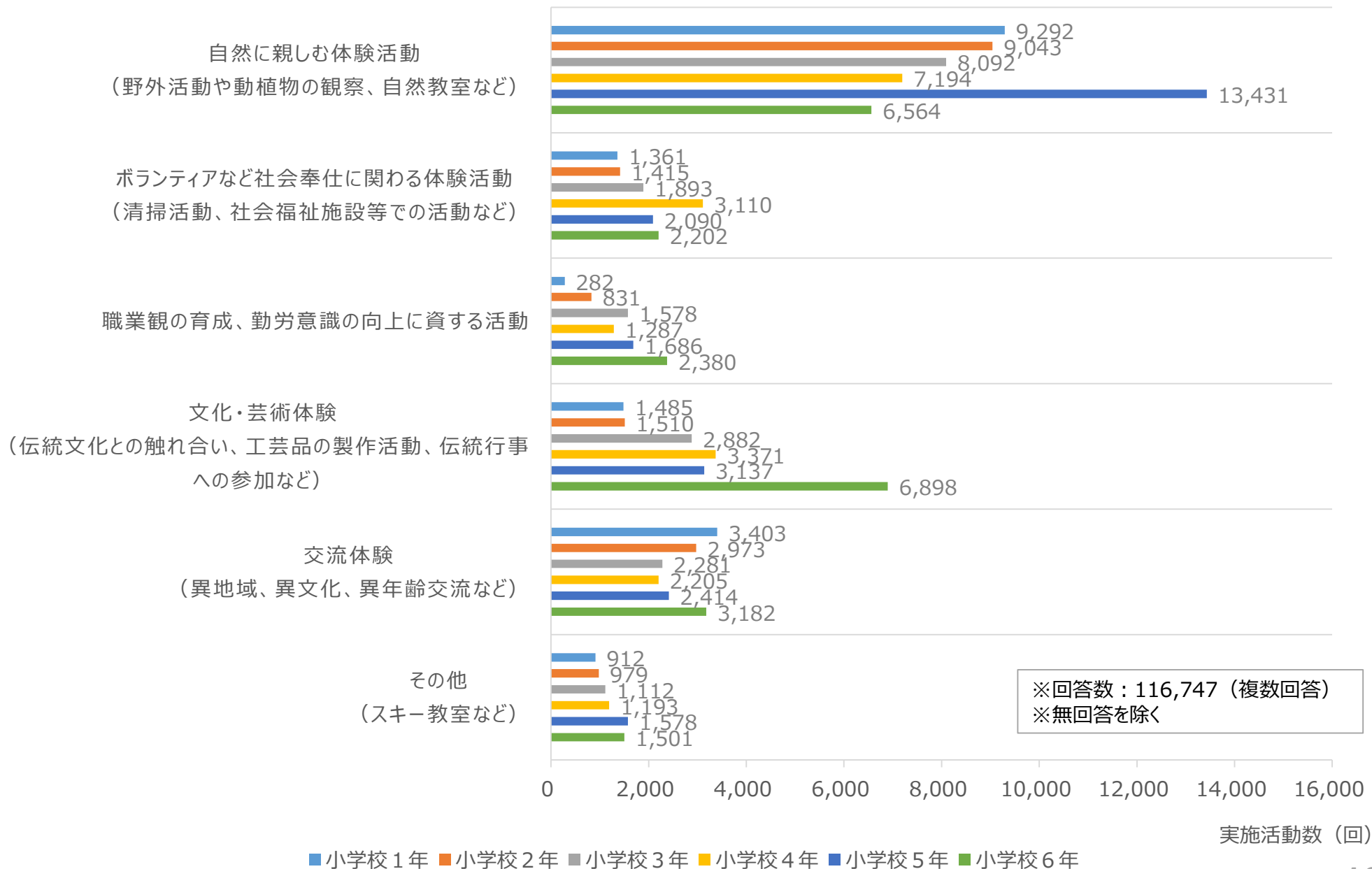
5-3 農山漁村での体験活動における利用施設（高等学校）

【施設種類ごとの利用状況】（回答数：161）

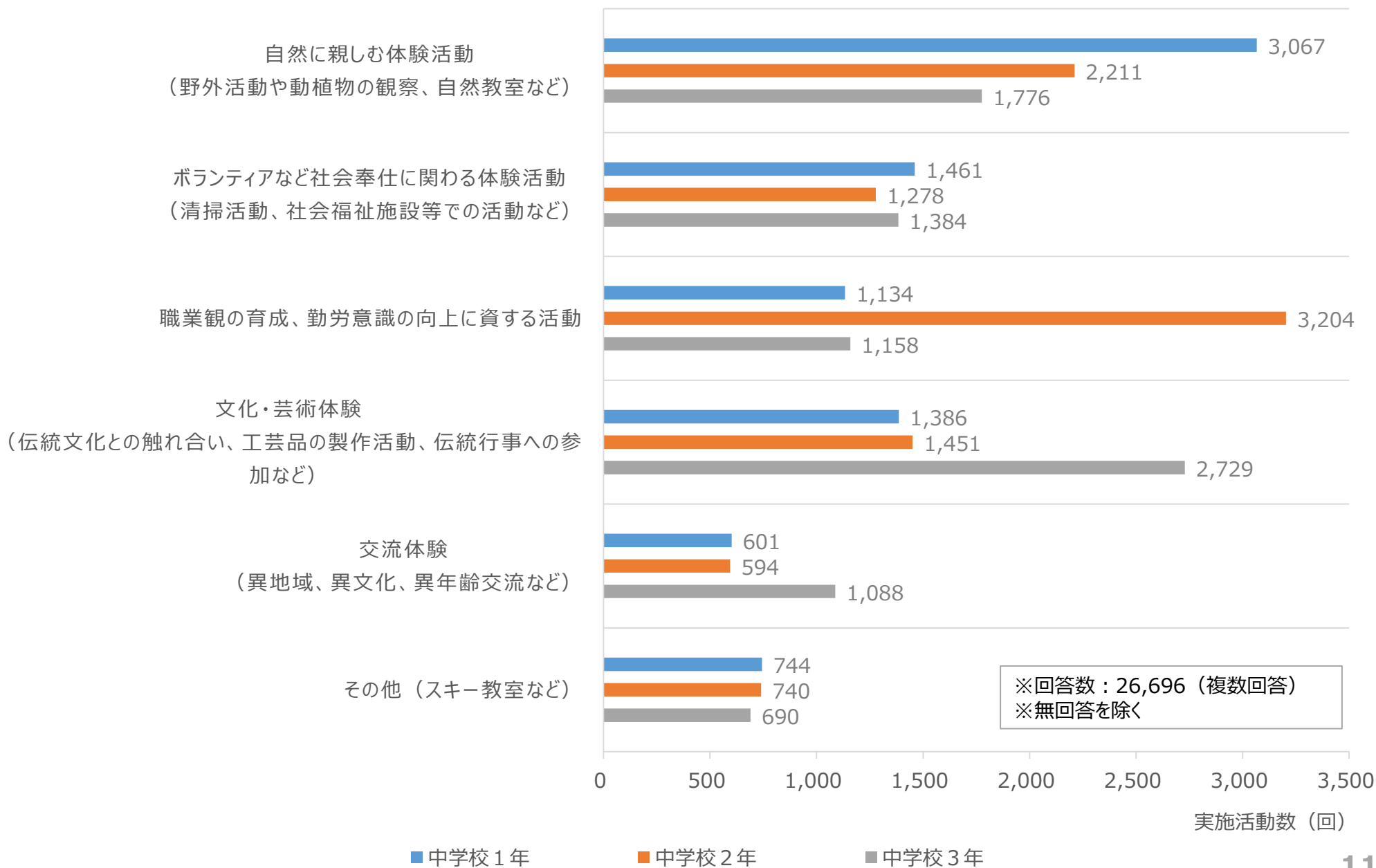


※複数回答
※無回答を除く

【参考】その他の体験活動の実施状況（小学校）



【参考】その他の体験活動の実施状況（中学校）



【参考】その他の体験活動の実施状況（高等学校）

